



議長 坊 恭寿

【令和5年度主な諸役】

第105代 神戸市会 議長

第65代 全国市議会議長会 会長

日台友好神戸市会議員連盟 会長

観光交流都市推進神戸市会議員連盟 会長 等



令和5年5月12日 本会議 議長選挙

ごあいさつ

皆様には、日頃より 坊 やすなが に対しまして格別のご厚情を賜り心から御礼申し上げます。

この度の令和6年能登半島地震により犠牲になりました方々に心からご冥福をお祈りすると共に被災者の皆様にお見舞い申し上げます。1日も早い復旧復興を衷心よりご祈念申し上げます。

さて昨年4月の市議選におきまして皆様のご支援のおかげにより6回連続当選を果たさせていただきました。そして当選後の初本会議におきまして、2度目となる第105代神戸市会議長に再任され、6月には東京フォーラムで開催されました全国市議会議長会総会に於いて第65代全国市議会議長会会長に選出頂きました。

これもひとえにこれまでご支援下さいました市民の皆さまのおかげと心から感謝申し上げます。大役を仰せつかりましたので、更に精進を重ねて皆様のご期待に応えて参る所存でございます。

神戸市では震災から29年目を迎え、長年の行財政改革を経ていよいよ未来へ向けた本格的な投資を始め、震災で叶わなかった様々な政策が前進致しております。また2025年には神戸空港が国際化され神戸が更に飛躍するチャンスが到来します。私は市議21年の経験を活かして市会議長として神戸の未来創造に誠心をもって取り組んで参る所存でございます。引き続きよろしくお願い申し上げます。

合 掌

～心から感謝を込めて～

令和6年3月吉日

やすなが

第65代全国市議会議長会会長
神戸市会議長

坊 恭寿

第99回全国市議会議長会定期総会にて
第65代 全国市議会議長会 会長 選任 (2023.6.14)

2023.6.15 <当日の活動抜粋>

- 市議会議員共済会 第1回理事会 開催
- 第126回代議員会 開催
- 新旧会長による挨拶回り
- ・ 松本剛明 総務大臣
- ・ 岡田直樹 デジタル田園都市国家構想担当大臣・地方創生担当大臣
- ・ 菅 義偉 前内閣総理大臣
- ・ 橘 慶一郎 自民党「地方議会の課題に関するPT」幹事長
- ・ あかま二郎 自民党「地方議会の課題に関するPT」事務局長

全国市議会議長会会長に坊氏 神戸市会から67年ぶり

坊 恭寿さん



全国792市と東京23区の議会議長でつくる団体のトップに、神戸市会から67年ぶりに就いた。「優秀な人材が政治家を目指したくなる仕組みが必要だ」。深刻化する議員のなり手不足対策を「一丁自一番地に据える」。

大学時代、元文部相の砂田重民衆院議員（故人）の下で秘書を務めた。欲望が渦巻く政治の世界で、バランスを取りながら最適な法律や制度を導き出す現実を目の当たりにした。結果によつては「人から感謝される」仕事に引かれ、2003年に神戸市北区から立候補。連続6回

の当選を重ねてきた。市会議長に初めて就任した2年前、神戸から議長会長を擁立しようとした。神戸・三宮は再整備が進み、阪神・淡路大震災から立ち直った。「全国から支援を受けた恩を返すとき」。2度目の議長就任を受け

て、自ら名乗りを上げた。首相の諮問機関「地方制度調査会」の一員として、地方政治の現状を伝える役割を担う。議員はかつて地域の有力者だったが、時代は変わった。より幅広い人材が多様な視点で地域の未来を議論できないかと思う。だがハードルがある。活動を支える環境整備を訴える。「社会保障と言えるのは国民年金だけ。退職金もない。これでは重要な課題に向き合える人材が集まらない」。制度改革に道筋をつけることを肝に銘じる。

年間100日前後を東京での会議や要望活動に充てることになる。「神戸のPRを意識し、イメージを損なわないよう、おしゃれにも気を配りたい」と笑う。56歳。（金 曼華）

神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会



KOBE 2024
世界パラ陸上競技選手権大会

世界パラ陸上競技選手権大会は、国際パラリンピック委員会により創設された世界最高峰のパラ陸上競技大会です。1994年ドイツ・ベルリンで第1回大会が開催され、2011年から、2年ごとに開催され、東アジアで初めて2024年神戸で開催されます。

応援お願いします!



カウントダウンボード除幕式
(2023.5.17)



「神戸のつどい」東京にてPR活動
(2023.8.8)

開催時期 2024年5月17日(金)～25日(土)

競技会場 神戸総合運動公園ユニバー記念競技場

参加選手数 約100か国・地域
約1,300人(見込み)

公式チケット
販売中



神戸を支える各種団体との交流



神戸市設備協力会 第36回 通常総会



神戸市小売市場連合会 75 回 定時総会



神戸市社会福祉大会

様々な専門分野の協会、連合、団体の総会、大会や集会に参加し、多くのご意見やご要望等を頂き、市政へ反映できるように鋭意取り組んでおります。

- ・神戸市設備協力会 通常総会・懇親会 出席 (2023.5.17)
- ・神戸市民間病院協会・神戸市第二次救急病院協議会 総会・懇親会 出席 (2023.5.24)
- ・神戸市小売市場連合会第75回定時総会 出席 (2023.6.27)
- ・神戸市商工団体総連合会70周年記念式典 出席 (2023.7.14)
- ・神戸市社会福祉大会 出席 (2023.9.7)
- ・篤志者感謝状贈呈式 出席 (2023.9.12)
- ・神戸商工会議所 川崎 博也 会頭 要望書 受理 (2023.9.25)
- ・神戸市商工団体優良従業員合同表彰式 出席 (2023.10.3)
- ・民間社会福祉施設職員激励会 出席 (2023.11.27)
- ・婦人市政懇談会 全市総括集会 出席 (2023.12.12)
- ・中央卸売市場本場 令和6年新年祝賀会 出席 (2024.1.5)
- ・近畿非破壊検査連合会 令和6年新年祝賀会 出席 (2024.1.15)
- ・神戸市私立幼稚園連盟新年交歓会 出席 (2024.1.26) など



令和5年度 神戸市商工団体優良従業員合同表彰式

外国賓客・外国公館等との交流



外国の方々との意見交換や交流では、各国の異なる文化や価値観に寄り添い、心を込めて応対し、自国を振り返るきっかけとなります。

- ・在大阪・神戸米国総領事館 リチャード・メイ・ジュニア総領事 表敬訪問 (2023.6.21)
- ・ウクライナ・リヴィウ市長(国際フロンティア産業メッセ2023出展)来神 (2023.9.6)
- ・駐神戸大韓民国総領事館 イ サンヨル 総領事 表敬訪問 (2023.9.8)
- ・中国 天津市 朱鵬天津市人民政府副市長・訪問団 来神 (2023.9.14)
- ・ドイツ ザールラント州首相、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事 表敬訪問 (2023.9.28)
- ・ISA(国際海底機構)マイケル・ロッジ事務局長 表敬訪問 (2024.2.22) など

神戸甲北高等学校で主権者教育 実施!

主権者教育とは、国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者を育成していくことです。



神戸市議会と兵庫県立神戸甲北高等学校が連携した主権者教育を実施し、議長、副議長ほか17名の議員が参加しました。

神戸甲北高校では独自に「神戸の研究」の科目を設定し、神戸市の魅力発信や課題解決に取り組む授業を行っております。

1時間目は、生徒から議員に対し、日頃感じている疑問に関する質問が行われました。また、課題「神戸市の子育て支援施策はどこに重点を置くべきか」について、参加議員から「神戸の研究」の発表者から意見表明などがありました。2時間目は、グループに分かれて生徒間で課題に関するディスカッションが行われ、各教室を議員が参観し意見交換を行いました。

する、みる、ささえる スポーツ振興への取組



神戸市スポーツ表彰・神戸市スポーツ功労者表彰表彰式 (2024.2.2)



第10回表彰式 スポーツ推進神戸市議会議員連盟表彰式(2023.12.19)

神戸市では、スポーツを「する」「みる」「ささえる」取り組みを行っています。「するスポーツ」にはスポーツ施設の整備、様々な年代の方がスポーツに取り組める環境づくり、「みるスポーツ」には、市内に拠点を置くトップスポーツチームの試合観戦機会の提供などスポーツをみる環境の充実、「ささえるスポーツ」には、指導者やボランティアが活躍する機会の充実などによりスポーツをささえる人材の養成に取り組んでいます。

- ・第31回 全国身体障害者野球大会開会式 出席 (2023.5.13)
- ・第62回 神戸市障害者スポーツ大会 出席 (2023.6.4)
- ・第9回 表彰式 スポーツ推進神戸市議会議員連盟 スポーツ優秀選手・団体表彰 出席 (2023.6.23)
- ・三菱重工 West 硬式野球部 表敬訪問 出席 (2023.6.29)
- ・「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」開幕200日前セレモニー 出席 (2023.10.30)
- ・「神戸マラソン2023」スタートセレモニー・表彰式授与 出席 (2023.11.19)
- ・ラグビー「神戸スティーラーズ」表敬訪問 出席 (2023.11.30)
- ・ヴィッセル神戸2023J1リーグ優勝を祝う会 出席 (2023.12.3)
- ・第9回 リアルチャンピオンシップ大会 出席 (2024.1.14)



神戸市スポーツ特別賞 フィギュアスケート 坂本花織 選手 贈呈式 (2023.8.10)



ヴィッセル神戸 表敬訪問 (2024.2.14)

全国市議会議長会 会長として協議・要望活動



「国と地方の協議の場」では、岸田内閣総理大臣、林内閣官房長官、松本総務大臣、自見内閣府特命担当大臣(地方創生)、赤澤財務副大臣、斉藤国土交通大臣、武見厚生労働大臣、河野デジタル大臣兼デジタル行財政改革担当大臣兼デジタル田園都市国家構想担当大臣、加藤内閣府特命担当大臣(こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画)と協議。

2023.10.19

令和5年度 第2回「国と地方の協議の場」開催(総理大臣官邸)
「デジタル行財政改革及び地方分権改革の推進」「こども・子育て政策」「マイナンバー総点検」について協議しました。

2023.12.18

令和5年度 第3回「国と地方の協議の場」開催(総理大臣官邸)
地方六団体の代表として「令和6年度予算編成及び地方財政対策」
①地方税財政の充実強化について②こども・子育て政策の財源確保について③活力ある地方議会の創出について協議しました。



2023.12.20

第9回 防災推進国民会議(総理大臣官邸) 出席



尾身朝子 総務副大臣 (2023.7.28)



自見はなこ 内閣府大臣政務官 (2023.7.28)

2023.7.28

- ・尾身朝子 総務副大臣
- ・自見はなこ 内閣府大臣政務官
- ・橘 慶一郎 自由民主党総務部会

第99回定期総会で決定した要望
「多様な人材の市議会への参画促進」
「地方税財源の充実強化」
「デジタル田園都市国家構想の着実な推進」
「デジタル格差の解消」

2023.11.9

- ・村井英樹 内閣官房副長官
- ・古賀友一郎 内閣府大臣政務官
- ・馬場成志 総務副大臣
- ・濱地雅一 厚生労働副大臣
- ・萩生田光一 自由民主党政務調査会長

全国市議会議長会 指定都市協議会 要望活動
「多様な大都市制度の早期実現」
「地方税財源の充実確保」
「地方議会議員の厚生年金への加入」
「感染症対策や物価高騰への対応」

2023.11.20

- ・馬場成志 総務副大臣
- ・石川昭政 内閣府副大臣
- ・古賀友一郎 内閣府大臣政務官
- ・根本幸典 自由民主党総務部会長
- ・橘 慶一郎 自民党「地方議会の課題に関するPT」幹事長
- ・あかま二郎 自民党「地方議会の課題に関するPT」事務局長



第115回評議員会で決定した要望
「多様な人材の市議会への参画促進」
「ポストコロナを展望した地方行財政の充実」

2023.12.21

- ・松本剛明 総務大臣
- ・盛山正仁 文部科学大臣
- ・石田真敏 自民党「地方議会の課題に関するPT」座長
- ・橘 慶一郎 自民党「地方議会の課題に関するPT」幹事長

将来の地方自治を担う子どもたちに対して、議員自らが議会・議員の活動を伝えることが重要であり、議会自らが主体的に行う主権者教育の取組に対する支援を要望する。

久元市長と指定都市を代表し要望活動



上川陽子 自民党幹事長代理 (2023.7.13)



馬場成志 総務副大臣 (2023.10.7)



萩生田光一 自由民主党政務調査会長 (2023.10.7)

指定都市市長会会長である久元市長と共に、指定都市を代表し、総務省及び自由民主党に「令和6年度国の施策及び予算に関する提案」「大都市財政の実態に即応する財源の拡充」について要望活動を行いました。

女性が変わる地方議会

地方議会での女性議員の増加を歓迎したい。市民と距離が近い市議会では民意を集約して市政に反映することがより重要になる。

一般に女性議員は保護者の立場や、子育てや介護に取り組んだ経験から、生活に身近な問題に対する意識が強い。地域サービスや女性の視点で分析して解決に取り組むことで、より使いやすい政策にいたりたり議案の多様性につながりたりしている。今後も女性議員は増えていくのではないかと。女性議員が働きやすい環境を整えるため、議員活動と出産や子育てなどを両立するための体制整備は欠かせない。地方議会のデジタル化を進め、事情により議場に参集できない場合に備えてオンライン開催

を進める必要がある。

自身が議長を務めている神戸市議会では、女性議員の意見をもとにセキュリティを強化したり、プライバシー配慮の観点から議員控室の一部にパーテーションを置いたりした。男女を問わず議員にハラスメント研修やサポートを行う体制整備も欠かせない。議員は常に批判的になるリスクをばらみ、希望者は減少傾向にある。人口減少の社会も見据えれば、女性の活躍の場が広がっていく現在の状況からこそ、男女を問わずいい人材に「議員になりたい」と思ってもらえる環境整備も必要だ。そのために若者や会社

員など多様な人材が議会に参画したくなるよう、議員の厚生年金や退職金制度の導入を含めた社会保障の充実の議論を進めたい。

それぞれの議員がどのような主張をしてどのような実績を残したのか「見える化」するための仕組みの構築も、潜在的に議員になる可能性を秘めた候補者に向けたアプローチとしては必要だろう。議員になると何が出来るのか、自分ならどうしたいか、考えるきっかけになるのではないかと。

男女を問わず、地方議員を経験してから国会にチャレンジするというキャリアパスは

生活視点で分析、解決

もっと確立されてよ
いと感ずる。地方の
実態や政治の基本を
理解した国会議員が
増えれば、国会の活
性化にもつながると
期待している。
(聞き手は堀尾宗正)



全国市議会議長会会長
坊 恭寿氏

能登半島地震に関する緊急要請を



林 芳正 内閣官房長官



古賀 篤 内閣府副大臣



松本 剛明 総務大臣



斉藤 鉄夫 国土交通大臣



渡海 紀三朗 自由民主党政務調査会長

【2024年1月19日】全国市議会議長会 会長として北信越市議会議長会とともに、林 芳正 内閣官房長官、古賀 篤 内閣府副大臣、松本 剛明 総務大臣、斉藤 鉄夫 国土交通大臣、渡海 紀三朗 自由民主党政務調査会長(令和6年能登半島地震対策本部長代行)に対し、令和6年能登半島地震に関する緊急要請を行い、「被災者の救援・救護」「被災地域の早期復旧・復興」「国の財政支援措置」について要請を行いました。



全国市議会議長会 正副会長会議



阪神市議会議長会

【2024年1月25日】全国市議会議長会 正副会長会議 水戸市(茨城県)
【2024年1月29日】阪神市議会議長会 但南健康福祉センター(丹波篠山市)両会議で、令和6年能登半島地震に関する要請活動や義援金口座の開設について報告を行い協力を求めました。



【2024年1月30日】令和6年能登半島地震 被災地支援のための神戸市職員退職者の派遣出発式で激励。
能登半島地震で被災した自治体を支援するため、神戸市職員退職者6名と現職員2名が石川県に1月30日から派遣。
阪神・淡路大震災において消防やインフラ復旧、給付事務などを経験した神戸市の元職員(60~80代)らでつくる先遣調査チームが、能登半島地震の被災地である石川県の珠洲市や輪島市などで被害状況を調査し、現地の行政職員とも情報交換しながら、被災者の生活再建やまちの復旧段階において必要な支援方法を検討します。

エコっ毎年数億円の収入増実現へ!

Q 坊やすなが 環境局 令和2年10月8日

神戸市港島クリーンセンターの高効率発電機は周辺市のゴミ処分発電を行うことで財政貢献できるのでは。

港島クリーンセンターは、平成29年4月に最新の発電システムを採用し全国的にも有数の高効率発電を行っております。建設費が400億、耐用年数が40年との事です。神戸市の3つのクリーンセンターでの発電収入は、全体で約20億円の収入がございませう。東・西クリーンセンターの発電機も最新の発電施設にかえれば、全体で40億程度の売電収入を確保でき、大幅に財政貢献ができるのではないのでしょうか。

環境分野の行政改革を前進させます!



また、この高額な焼却場、発電の施設を神戸市周辺市が設置するには、ゴミの量も発電量も少なく採算が合わない。そこで、周辺市に声をかけて周辺市のゴミを神戸市で焼却する事で、処分費収入が見込まれ、そのゴミを燃やし発電をすると売電収入も見込める。多大な財政貢献となり、進めるべきかと考えます。

A 環境局担当部長

クリーンセンターの更新には多額の経費が掛かりますが坊議員ご指摘の通り、可能な限り最先端の技術を活用し周辺市のゴミ処分と発電を研究していきたい。

芦屋のごみ、神戸で焼却へ 広域化調整

収集・運搬や費用負担協議

神戸市と芦屋市が、ごみ処理を広域化する方向で検討していることが8日、関係者への取材で分かった。処理能力に余力がある神戸の焼却施設で芦屋のごみの受け入れを想定し、共同処理により温室効果ガスの削減などを見込む。収集・運搬の在り方や費用負担で市民への影響を最小限に抑えるよう協議を進めている。(金 晃革、村上貴浩)

芦屋市が昨年9月、ごみ処理などでの連携を神戸市に申し入れていた。自前の処理施設は1996年に設置され、今後10年程度で更新が必要になる。元々は前市長時代に西宮市との広域化を模索し、2017〜21

久元喜造・神戸市長も市会本会議で「近隣自治体との連携強化は意義がある」と前向きな姿勢を見せていた。

神戸市内のごみ排出量は人口減少などを背景に減少傾向にあり、可燃ごみは22年度が約23万6千トンで、10年間で約12%（約3万トン）減った。関係者によると、芦屋市の年間排出量（22年度は約2万5千トン）なら既存の焼却施設（神戸市東灘、中央、西区）で対応可能。蒸気を活用した発電設備もあり、焼却量が増えれば発電効率が高まるという。

両市は目下、広域化の前提として市民負担の抑制策を協議。ごみ運搬車が神戸を行き交う頻度を減らすため、芦屋市内で収集したごみを同市の中継施設でパッカー車から大型車両に積み替え、搬送することを検討している。車両は一般道ではなく高速道路を走行し、神戸市民への影響を抑える考え。芦屋市側は、ごみ収集の日時を従来通りの運用で継続できるとみている。搬入先の神戸市の施設は調整段階で、費用負担については今後協議する見通し。

ごみ処理での自治体連携は施設の集約化につながり、単独処理より経費を抑制でき、環境負荷の低減も期待できるとして、国や兵庫県も推奨している。

神戸新聞 2024.2.9

お問い合わせ・あらゆるご相談は
神戸市議員



坊やすなが まで

〒651-1301 神戸市北区藤原台北町2-11-6
TEL 078-983-1711 FAX 078-983-1719
E-mail yasunaga.bo@gmail.com